



2015年9月のロータリーレートは1ドル=124円

2016年 地区大会は10.22(土) 23(日) 南砺RC



「Be a gift to the world」世界へのプレゼントになろう

2015～16 K.R. “ラビ” ラビンドラン RI 会長

「ロータリーを楽しむ」

国際ロータリー第2610地区2015-16年度ガバナー柳生 好春

「楽しく活気のあるクラブを目指して」 金沢百万石 RC 会長

魏賢任



柳生好春ガバナー



稲山訓央 SAA

例会優り

第811回

オープンスタイルロータリー

2015.11.26(木) 19:00

招龍亭 2F

例会出席者 26/42 61.90%

10月の平均出席率 70.98%

開会

1. 四つのテスト
2. 魏賢任会長挨拶

今日は飛騨高山から卓話の講師をお迎えしております。先生のお話を楽しみに私共クラブ会員、そしてゲストの方十数名にお越しいただき盛大に特別例会を開催できることを心より喜んでおります。有



難うございます。

1) ゲストのご紹介

〔卓話者〕飛騨産業(株) 代表取締役社長 岡田賛三(おかだ さんぞう) 様

杵村 一生(まつむら かずお) 様 (株)浜庄運輸社長

東出 外治郎(ひがしで そとじろう) 様 ハウスプロデュースキズナ(絆) 社長

徳田 隆裕(とくだ たかひろ) 様 弁護士(金沢合同法律事務所)

澤野 利春(さわの としはる) 様 沢野建設工房社長

的場 均(まとば ひとし) 様 桐的ハウジング社長

塩山 徳宏(しおやま とくひろ) 様 ウィンクル経営コンサルタント

奥田 和也(おくだ かずや) 様 (株)生きがい工房社長

木下 孝治(きのした こうじ) 様 (株)エムアンドケイ社長

小田 佳奈(おだ かな) 様 Bridalかがやき

吉田 麻由(よしだ まゆ) 様 NHK金沢放送局放送部記者

舟木 公一郎(ふなき こういちろう) 様 谷会員ご子息

2) ビジターのご紹介

金沢西RC 松本 仁(まつもと ひとし) 様 日光リネンサプライ(株) 社長

金沢みなとRC 尾崎 知恵子(おざき ちえこ) 様 (株)山岸製作所 会長



《 食 事 》

3. 幹事報告・委員会報告

〔幹事報告〕 大路孝之幹事：・本日の例会終了後、会員による「社会奉仕フォーラム」を行います。その後、6名の委員による「東日本大震災図書支援プロジェクト委員会」を開催いたします。

・来週12/3の例会は、19時よりホテル日航金沢におきまして「クラブ年次総会」を行います。



4. ニコニコBOX



飛騨産業㈱ 代表取締役社長 岡田賛三様より

魏賢任会長：皆さまこんばんは。岡田先生、遠方からお越しいただき、誠に有難うございます。お話を心より楽しみにしています。またゲストの皆さま、ようこそ。百万石ロータリークラブの例会にご参加いただきありがとうございます。

大路孝之幹事：岡田様、遠路ありがとうございます。卓話よろしくお願ひいたします。

上杉輝子会員：急にお寒くなりました。皆様おかせ召しません様に。岡田様ようこそ、お話楽しみにしております。

谷伊津子会員：飛騨高山からわざわざお越し頂きありがとうございます。お話を楽しみにしています。9永原源八郎

会員：先日研修でスペインに行ってきました。アンダルシア地方のスペイン漆喰塗の白い家が立ち並ぶ白い町（街）四カ所とバルセロナでは偉大な建築家「ガウディ」の作品「サグラダファミリア」天を突くような雄大で感激の建物でした。

5. 講話の時間 『日本の森を守る 新しい技』 圧縮杉の家具”

飛騨産業㈱代表取締役社長 岡田賛三（おかだ さんぞう）様

紹介者：谷会員 今日飛騨産業の岡田社長さんを、9月5日の地区社会奉仕委員会に続きお招きいたしました。また、岡田社長の卓話をお聞きになりたい方や金沢百万石RCをお知りになりたい方にもゲストとしてお越しいただき、社長さんを囲んで楽しいひとときを過ごしていただけたらと思います。よろしくお願ひいたします。



講話：私の飛騨高山で家具の会社を営んでおり、1920年設立・創業し、あと5年で100周年です。次の10



0年に向かい礎を築こうという思いであります。高山という地域は日本のほぼ中心に位置し、高山市の面積は東京都とほぼ同じですが、93%の森林をかかえ一人あたりの森林面積には恵まれています。なぜ木工業を行ってきたかと申しますと、太古よりブナやナラの原生林に覆われ天然資源が豊富にあり、寒冷地でもあるため引き締まった良い木材がとれます。また飛騨は縄文人のふるさとでもあり、約1万年続いた縄文時代には戦いの痕跡がなかったという世界でも珍しい人類の文明があったということで最近評価が高くなっています。高山では木工の技術が進んでいまして、大和朝廷の飛鳥・奈良・平安時代の都づくりのために毎年100人の匠が召し

出され、唐招提寺や法隆寺などに飛騨の匠の技が残っています。戦国時代には金森長近という武将がおり、その孫にあたる金森宗和という方が宗和流をたちあげ、千利休は武将、金森宗和は、公家・貴族という位置づけだったようです。京都の修学院など色々な所に金森宗和の茶室などが残されています。飛騨には木工文化があり、代官所のほか祭屋台16台が動く陽明門といわれ重要文化財に指定されています。しかし明治時代は貧しい寒村でありましたが、たまたま西洋で曲

木を使って椅子を造る技術をもたらした旅人がおり、自分達が使ったこともない椅子などを造って全国や海外にも輸出する会社になっていきました。また戦時中は軍需工場となり、鉄の不足により特攻隊の燃料タンク、燃料が無くなれば捨てる「落下タンク」を大量に作り、最終的には飛行機も作り試験飛行に成功したけれども終戦を迎え実戦には使われなかったようです。戦後はもともとやっていた家具製造でアメリカなどに輸出し、輸出貢献企業で内閣総理大臣賞をいただいたこともありました。高度成長期は造れば売れる時代となり、同じ商品を毎日何千も作ったこともありました。品質が良いということから「暮らしの手帖」という雑誌で初めて通信販売を行いました。各家庭に家具のある生活がはじまった頃に開発した「穂高」という製品があり、45年経った今も当社のロングセラー商品となっています。以前は飛騨産の木材を使用しておりましたが、現在は約90%をアメリカなどから輸入しています。ブナやナラは戦前・戦中にほとんど切られてしまって、種から成長している木は長くて70年ぐらいい



か経っておらず、家具には 使えないということです。そこで杉を圧縮して強化する技術を知り、スタートさせました。イタリアのトップデザイナーであるエンツォ・マーリ氏との出会いがあり、杉を使ったデザインを依頼し、20数アイテムの製品化をいたしました。そして世界最大の家具展示会が行われるミラノで発表しました。用の美というそぎ落とされたデザインであると思います。杉をさらに研究し、杉のまさめを出した家具がグッドデザイン賞ベストナインに入り、非常に高い評価を受けました。また杉を使うことにより、地域の山を守り地域に産業をおこし環境にも貢献したいと思い当社の屋根にソーラーパネルを設置したり、間伐材を使ったペレットによるボイラー、工場のビラーには端材を使うなどCO2の削減に少しでも貢献できているかと思っています。若い人に技術を伝承するために昨年「飛騨職人学舎」を設立いたしました。今年は9名入校し、1名が都合で工場勤務となりましたが、8名は非常に楽しく頑張っています。寮生活の中で朝6時に起床しランニング・掃除、午前中は職場体験、午後から技術の勉強を夜10時頃まで行なっています。決してやらされているのではなく、楽しそうにカンナを研いだりする光景があります。技術を磨くことは誰でもある程度はできるが、作品には人間性がでる、だから人間性を磨かなければならないという秋山さんの言葉があります。当社としては地域産業として地場産業として、伝統を受け継ぎながら新しい技術を生かし日本のモノづくりの心を世界へ発信できるような企業をめざしていきます。

8. 「社会奉仕フォーラム」(金沢百万石RC会員による)

司会：永原源八郎委員長： 委員 北山吉明 東海林也令子 武藤清秀 谷伊津子

現在行われているプログラムと今後の計画について：



- 1) 子ども夢フォーラム (代表高木眞理子)、金沢パイロットクラブ (藤間勘菊会長) への寄付
- 2) 国際ピアノコンクール石川の「金沢百万石 RC 賞」
- 3) 仙台 RC、南光州 RC と共に 東日本震災津波による被害を受けた仙台地区の小学校に図書を寄付 (炭谷亮一パストガバナー)
- 4) 日本国旗掲揚の啓蒙
- 5) 電力の節約の為の啓蒙 アンケート
- 6) 社会奉仕フォーラム 高山から飛騨産業の社長岡田賛三様を迎えの卓話

7) 「金沢市の交通を考える」 座談会 (地域発展のための提言) を

金沢市中心街の賑わいは交通手段の変化によって衰退しました。現在は中心街へ行くのも100%自動車であり、混雑する自家用車についてバスがゆっくり走っています。さらに大型店や病院などは郊外におかれ、自動車でなければ行けない状態であり、街中駐車場だらけです。

郊外からもお客を呼び込む速くて大量輸送が出来る交通手段が必要とおもわれます。富山市や高岡市はすでに Light rail transit (LRT) が設置され中心街と郊外を高速で結ぶ努力をしています。金沢市は浅野川線と石川線がありながら繋がっておらず中心街の発展に寄与して居ません。世界には LRT で街に昔の賑わいを取り戻した例が沢山あります。

石丸幹夫：ロータリー活動の社会奉仕の中には以前からロータリアンが行政に提言する地域発展委員会と言うのがあったのですが最近忘れられています。一度そのフォーラムをしたいですね。

炭谷亮一 P G：11月24日(火)に仙南地区の被災小中学校に図書を寄贈する案件の為、仙台 R、C を訪問し、例会終了後 大槻会長はじめ5名の幹部の皆様と協議の結果、地区補助金を使用して(グローバル補助金使用に比べて約半分の規模で) 実行する合意に達しました。



閉 会

パストガバナーからの手紙 244 回 2015.12.3

「夏目漱石」再考 炭谷 亮一

夏目漱石ほど日本人に親しまれ、愛されている作家は外にいない。例えば著書「吾輩は猫である」は小学生高学年から老人まで幅広く愛読されている、来年は没後100年となるが、現在でも漱石の著作は文庫本として売りに売れている。

夏目漱石の子孫が著作権の延長を願い出たのも解らないでもない(もちろん文科省から拒否された)。

1905年(明治38年)「吾輩は猫」に始まり、1916年(大正5)の死亡時まで著作としていて、未完・絶筆となった「明暗」まで約11年の作家活動で19冊の著書と短編集を残している。

売れる売れないにかかわらず漱石の偉大さは彼の作品には駄作が存在せず、すべて名作と言えるところだ（これはわたしの考え）。

さて昨年6月19日付会報に「明治の文豪 鴎外と漱石」（180回）を掲載し、その中で現在我々が使っている言文一致の文章は夏目漱石が創ったと述べた。

今回は漱石はなぜ現代の文章を創ることが出来たのかに焦点を当ててみたいと思う。

明治という新時代になって、日本の作家や文学者たちは、江戸時代の戯作の文章や、候文などではなく、新しい文章を生み出さなければならぬとさまざま努力した。

中世のヨーロッパに例をとると、イタリアではイタリア語を話していたが、文章ではラテン語を使用していた。ところが、あの有名なダンテの「神曲」では方言のトスカナ語を使用した（実はダンテはラテン語を知らなかった）。これにはイタリアの知識階級は驚いた様で、田舎者のダンテに出来ることがオレ達にも出来ないはずがないと言文一致すなわちイタリア語で文章を書く様になった。

又イギリスでは公式な文章はすべてラテン語を使用していた、あの有名なアイザック・ニュートンの「自然哲学の数数学的原理（プリンピキア）」もラテン語で書かれている。ところが一般庶民階級はラテン語で書かれたものにはチンプンカンプンの為、一般庶民が話す英語、現在の様な完成された言語ではなく何んとか改善する為に語彙（ボキャブラリー）を増やし、又発音を統一して言語としての体裁を整えかつ文法も簡略化してすべてのイギリス人が使える様にした。このことが幸いして現代ではヨーロッパの言語の中で英語はグローバルな第1言語としての地位を占めている。

明治に入って、二葉亭四迷はロシア語を学んで、ツルゲーネフを訳したりし、しゃべる通りに書く文章を創ろうとした。これが言文一致運動である。

福沢諭吉や山田美妙なども言文一致の文章ををめぐし“だ”“である”体がいいか“です”“ます”体がいいか大いに考案したが、決定的な成果は出せなかった。

こう言った模索の中、漱石がついに現代の文章を完成させたのである。今日我々が使用している文章は漱石が創り完成させたと断言できる。

この文書を使えば、今盛んに国会で論議している安保法制について社説を書くことも出来れば、自分の恋愛感情を小説にすることも出来る、又学術論文も書ける。この文章を得て日本の文化は飛躍的に発展した。

この大業績に対して私は当時の文部省はちんけな文学博士の授与ではなく、文化勲章でも漱石に与えるべきだったと考えている（もちろん漱石存命中は文化勲章は存在せず1937年から）残念！！

ではなぜ漱石だけが一人新しい文章を創ることが出来たのか考察してみた。それは彼が英文学者であったということだ。つまり英語を日本語に訳す際に候文ではなく話し言葉で訳したはずである。例えば・・・「I am a cat. I don't have my name,yet」 「吾輩は猫である。名前はまだ無い」と言う様に。当時の英語は完成の域にあり英文学に精通した漱石は英語研究を通してごく自然に日本語における言文一致を会得したと私は考えている。結論から言えば、漱石の英語力が、新しい日本語の文章を創るのに役立ったのではないだろうか。坪内逍遙は英文学を学んで「シェイクスピア」を日本に紹介し、「小説神髓」を著して新しい小説のあり方を提言した。そこで言っているのは江戸時代までの勧善懲悪主義を排して写実主義を重んじるべし、つまり人間の心理を描くのが新しい小説だと述べている。それを最初に体現したのが漱石であり、20世紀日本文学の生みの親と言える。

来年は漱石の没後100周年に当たる。日本が生んだこの偉大な作家を紫式部を除けば、日本文学史上最高の作家として私は称えたい。もし漱石自身で英語でも小説を書いていたなら、ひょっとしたら日本人最初のノーベル文学賞受賞の栄に裕したかも知れないと想像すると何か楽しくなって来る。

漱石は日本文学史に燦然と輝いている。そして最高の作家と言える（紫式部を除いて）。

年忘れ例会のご案内

クラブ管理運営委員長 東海林 也令子 親睦委員長 武藤 清秀

1. 日 時 12月17日(木) 19:00 開会(～21:30頃) 2. 場 所 ホテル日航金沢 3F 「ルミエール」
3. 会 費 (1)会 員 6,000 (3)お子様(大人料理) 6,000円(4)お子様(子供料理) 4,000円
4. その他 (1)オクショに出品される方は、別紙出品用紙を添付の上、当日品物をご持参下さい。なお時間の関係上、お一人一品限りの出品とさせていただきます。飲酒される方はお車の運転をご遠慮ください。

理事役員会の開催について

- 日 時 : 12月10日(木) 例会後 場 所 : ホテル日航金沢 5F 「松・竹の間」
- 議 件 : 1. 次年度理事・役員について 2. 東日本大震災被災小学校への図書寄贈の為のマツシガ・グラントについて
3. 地区補助金(ラオス支援)について 4. その他

会員消息

ArtShop 月映 (Tsukibae) をオープンしました。2015.11.29 から
金沢市安江町 18-10Tel256-5371 宮永満祐美



クラブ例会予定

11/26 於：招龍亭「会場変更例会 (オープンスタイル) 並びに社会奉仕フォーラム」 20:30 飛騨産業(株) 代表取締役社長 岡田賛三様
12/3 年次総会 (卓話なし)
12/10 杉本 英宣様株式会社で できる 代表取締役
12/17 年忘れ例会 ホテル日航金沢
12/24 休会
2016 1/7(木) 18:30 新年合同 ホテル日航 4F
5/30 (月) 南光州合同例会 (ソウル近郊高陽市)

2015～16 役員・理事・委員会

(役員) 会長：魏 賢任 エル外：若狭豊 副会長：上杉輝子 幹事：大路孝之 副幹事：武藤清秀
会計：西村邦雄 直前会長 宮永満祐美

(理事) 東海林也令子 (クラブ管理運営委員長) 水野陽子 (奉仕プロジェクト委員長)
金 沂秀 (会員組織委員長) 藤間勘菊 (広報委員長)

常任理事：石丸幹夫 吉田昭生 木場紀子

理事会オブザーバー・アドバイザー：パストガバナー 炭谷亮一 地区パスト幹事 岩倉舟伊智 監査：後出博敏
(委員会)

クラブ管理運営委員長：東海林也令子 副：稲山訓央

親睦：○武藤清秀 二木秀樹 川きみよ 金沂秀 杵屋喜三以満 後出博敏 大沼俊昭 相良光貞 高田重男 辰己クミ 若狭豊 山崎正美 竹田敬一郎 表靖子 矢来生和 野村礼子

例会：(プログラム/出席) ○井口千夏 江守巧 宮永満祐美 水野陽子 吉田昭生

SAA：○稲山訓央 西村邦雄 宍戸紀文 ニコニコ：○布施美枝子 宍戸紀文

友好・クラブ細則：細則 CLP 検討 ○江守巧 岩倉舟伊智 富山西 RC との交流 岩倉舟伊智 藤間勘菊 木場紀子
直前委員長：二木秀樹

金沢北 RC との合同例会 ○二木秀樹 杵屋喜三以満

その他友好クラブとの交流 ○石丸幹夫 藤間勘菊 村田祐一 東海林也令子

奉仕プロジェクト委員長：水野陽子 副：川きみよ

職業：○村田祐一 二木秀樹 井口千夏 若狭豊 永原源八郎 谷伊津子

社会 (新世代・青少年を含む)：○永原源八郎 北山吉明 東海林也令子 武藤清秀 谷伊津子

国際：○炭谷亮一 世界社会奉仕 (R財団) ラオス支援 ○炭谷亮一 岩倉舟伊智 西村邦雄

描き損じハガキ ○江守道子 米山奨学会 ○藤間勘菊

青少年奉仕 ○上杉輝子 国際青少年交換(日韓など) ○上杉輝子 金沂秀 吉田昭生

直前委員長：北山吉明

会員組織委員長：金沂秀 副：井口千夏

会員増強：○大路孝之 江守道子 石丸幹夫 岩倉舟伊智 野城 勲 宮永満祐美 炭谷亮一 永原源八郎 高田重男 修練 北山吉明 江守巧 石丸幹夫 木場紀子 直前委員長 金沂秀

広報委員会委員長：藤間勘菊 副：宍戸紀文 広報：○上杉輝子 石丸幹夫 ロータリー情報：宍戸紀文 藤間勘菊 布施美枝子 会報・ホームページ：石丸幹夫 宍戸紀文 直前委員長 藤間勘菊

長期姉妹クラブ担当 韓国南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 藤間

京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 金沂秀 藤間 宮永

(地区委員) 諮問委員会委員 地区ガバナー氏名委員会委員、日台親善会議実行委員会顧問 R米山記念奨学会委員会カウンセラー 炭谷亮一 社会奉仕委員会委員長 谷伊津子 危機管理委員会委員 石丸幹夫 広報委員会委員 藤間勘菊

日台親善会議実行委員会 宮永満祐美 R米山奨学会委員会委員 (米山奨学金/学友会担当) 大路孝之

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒 920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-1111 例会日時 木曜日 19:00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒 920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9:00 ~ 15:00 休憩時間 12:00 ~ 13:00 木 15:00 ~ 20:00

休日 (土日祝日) 事務局員 西村有里 幹事 大路孝之